

神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL: 045-663-4061 FAX: 045-663-4062
メール: nenkinagawa@nifty.com

10月5日現勢 組合員 10,111人
機関紙 6,321部
年金改善署名 77,381筆



神奈川県版 第278号 2011年10月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20大塚駅前ビル
TEL. 03 (5978) 2751 FAX. 03 (5978) 2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

全国20万人の仲間づくりで要求実現

この秋 10500人の県組織へ

第23回 県本部定期大会で決意



神奈川県本部第23回定期大会が9月20日、中区の労働プラザで開催され、代議員、役員など192人が出席しました。
来賓として出席した中央本部篠塚多助委員長は「高齢者のくらしと健康を守るために克服しなければならぬ課題が山積しており、高齢者の唯一の全国組織として、年金者組合を存在感の大きい強い組織とすることが極めて重要で、6年間に20万人組織を実現する。この秋の仲間づくり月間で、全国で最高クラスの組織力を持つ神奈川のとりくみの正否が運動成功のカギを握っている」と激励しました。

大会では今年度から取り組む県本部第2次総合計画を確定させ、本部が提起した20万人組織を実現する1年間の方針を討議しました。
特に10月、11月の月間では、各支部が自ら目標を立て、5000人増で10500人を必ず達成するとの発言が次々に。茅ヶ崎、横浜緑支部が早々目標を達すると報告。小田原は2市8町の広大な地域を分割して、きめ細やかな運動をすすめる組織に改編する計画が具体的にいったとの発言も。運動では①組合員にとつて役に立つ活動。②楽しく生きがいのあるサークル活動、行事を推進する。平塚のサークル活動と仲間づくりが光りました。

茅ヶ崎支部の竹内書記長は誰もが認める釣り名人。釣り人と釣られる魚のあうんの呼吸が、仲間づくりにも役立ちますと語ります。
秋の仲間ふやしは自主目標の300人にとどまらず、10月の支部総会は300人を越える仲間を迎えたいと思つていきます。仲間ふやしのやり方は、地域を決めて年金者組合へお誘いするピラを大量にまく方法と、いろいろその人の希望が叶えられるように誘う方法があります。誘ったあと一人ひとり大事にする血の通った実務が

重要です。支部の役員会はたつぷり3時間話し合います。支部のあり方を巡って意見のぶつかり合いもありますがよく意見を出し合います。仲間ふやしの力を合わせて頑張っていけます。

茅ヶ崎支部が目標達成 血の通った仲間づくり

サークルとまちづくりを 一体に 愛川支部

新役員では土志田委員長、戦後生まれの鈴木書記長が誕生。県本部活性化にふさわしい体制に

合の活動がよくわかる内容になっており、訪れた人から会員が生まれ、昨春秋、今春の目標達成につながっています。歓迎・交流会で参加者の特技をつかみ、新しいサークルづくりも行い、健康麻雀、釣りの会などが生まれました。

サークル活動は支部の基本で、これを通して仲間が増えていきます。設立の目標数を決めて増やす必要があります。愛川ではサークルに参加する人が、合間にあすこの道は狭いなど、くらしのことも話し合つて要求が決まり、町当局と交渉を重ねて解決する。楽しみとまちづくりを一体のものとして取り組んでいます。仲間づくりの目標は全支部が直近の1%にするのと統一すべきです。



新しく県本部委員長に選出された土志田公

新委員長で前進 土志田公佳氏を選出

書記長も戦後生まれ

佳どしたかよしです。当面、今秋1万5000人の県本部建設、年金者一揆を成功させ「社会保障と税の一体改革」路線を打ち破り、高齢者の生活を守るため、新執行委員、各支部、組合員の皆

さんと力を合わせて全力で頑張ります。またサークル、文化活動や高齢者にやさしい街作りにも積極的に取り組むと思います。よろしくお願いたします。



小林代議員

旭支部 女性が主役

地域中心のお楽しみ会

旭支部は女性の会が元気のです。その一つが「お楽しみ会」で、地域が中心になる活動をめざして、ピラも工夫し会場周辺や駅頭でも配ります。地元の役員

にも声をかけ、当日はささやかなプレゼント、飲み物も用意。各サークルの手作り作品の展示など、年金者組

(小林恵美子)



愛川・野尻代議員

- ★執行委員長 土志田公佳(磯子)
- ★副執行委員長 飯島明子・小田原、大貫多喜子・横濱みなみ、杉沢隆宣、金沢、塚原信介・川崎みなみ、夏野弘司・鎌倉、松永峻彦
- ★書記長 鈴木久夫(横浜みなみ)
- ★書記次長 阿部進一・川崎多摩、小宮山泰子・茅ヶ崎、津田史子・厚木、山内寿代・鎌倉、山本寛・港南
- ★会計 村田泰子・横浜中
- ★執行委員 伊藤りつ子・横浜泉、植田節夫・鶴見、大蔵敦子・川崎麻生、大沢直人・川崎厚木、小野寺晃・保土ヶ谷、木村幸蔵・戸塚、草間篤・川崎中原、斉藤信幸・相模原、渋谷祥子・横濱、田中文子・鷹、野尻治・鷺、平山美、旭、細田とつき子・川崎幸、曲田弘・磯、宮内幸太郎・小田原、望月有・小田原、若井吉太郎・秦野、渡辺徹雄・平塚、渡辺義朗・港北
- ★会計監査 蔭山勇・旭、田中久雄・港北

平塚支部

20年誌から学ぶ
35以上になつたサークル

このほど平塚支部結成20周年記念誌を作る中で支部の歴史から学んだものがあります。支部の結成準備は労組、民主団体の経験者が「この世の中を何とかしたい」と高齢者の「眼内レンズやバスの助成を」との要求を掲げて運動を展開、成果をあげたのが結成になりました。

そして結成10年の頃から少しずつ役員も交代し、



平塚支部・兼子代議員

組員の親睦だけでなく、高齢者の「趣味を生かしたい。余暇を有効に使いたい。おしゃべりもしたい」との要望も出て、2人でも3人が集まればサークルを立ち上げました。現在その数は35以上に増えています。新規の組合加入者の大部分はサークルに参加する人となっています。現在は、女性組合員数が男性を上回り、

支部活動のスタイルも変わってきました。

横浜支部協

横浜市と高齢者対策で協議

横浜市高齢在宅支援課と9月22日、一時間半にわたって懇談しました。

8月にまとめられたH22年度横浜市高齢者実態調査結果が報告されたが、

そこには要支援の介護を75歳以上が44・2%も担っているなど、老老介護の現実が見事に浮かび上がっています。特別養護老人ホームの入居者1万3000人に対し待機者1万2000人などの実情に担当者も頭を抱えているのが実態のようです。

一人ぼっちの高齢者をなくすためにいきいきと豊かなサークル活動を行っている年金者組合を紹介すると「私たちとほぼ同じ立場ですね、出来ることは協力して」と語り、継続した話し合いをもつことで合意しました。

(鈴木久男)

消費税によらない最低保障年金制度で無年金・低年金をなくせ!!

税と社会保障の一体改革の名で改悪つくしは年金割をカット!!

医療費の負担増!!

年金額をカット!!

支給年齢を上げ

消費税6%増税

声をあげよう!

年金者一揆 2011

10月14日(金) 11:30
東京明治公園で
神奈川から1000人参加を



原爆No! 米空母はいらない
9・25 横須賀に4500人
母子や青年が多数参加

「野田首相は就任のとき脱原発路線をつくと公言した。その舌の根も乾かぬうちに原発は推進すると態度を変えた。国民を愚弄するもので許せない」(横浜から参加の組合員)「福島事故は大変危険なことです。その原子炉を上回る原子力空母が横須賀にいるなんて心配でたまりません。ここは地震に危険な活断層があり、事故が起きたら生きていられません。すぐに撤退してもらおうよう参加しました」横須賀支部矢沢静枝さん(70)。

米原子力空母が横須賀を母港としてから3年目の9月25日、横須賀ヴェルニー公園で「原発ゼロ! 原子力空母はいらない」米空母ジョージワシントン横須賀配備3年抗議集会(主催・安保破棄中央実行委員会ほか)が開かれ、地元神奈川をはじめ首都圏などから4500人以上が参加しました。

会場には子どもを連れてお母さん、原子力空母は帰れと手作りのプラカードを胸にかかげる若い人も多く空母配備以来最大の市民・団体の抗議集会となりました。

集会では福島県農民連亀田俊英会長、浜岡原発から住民を守る会清水澄夫会長らが、原発なくせと決意表明。終わって米軍基地へ怒りのパレードを行いました。

これから
どうなる
①

(次号11月)

Qちゃん いま「社会保障と税の一体改革」が大きい問題だと言われるがどんなことなの。
健ちゃん 中身はいろいろあるが一言でいえば憲法25条で政府は社会福祉、社会保障の増進に責任を持っているのに、野田内閣は社会保障については第一に自助、第二に共助、第三に公平性の三位一体を打ち出し、かかる費用は消費税を増税して賄う。高齢者や弱者のくらし、健康は自分たちで処理しろということなんだよ。

ねらいは消費税
大增税はダメだ
社会保障と税の一体改革

Qちゃん それはひどいな。2年前、民主党は税金の使い道を財界本位から国民のために使うというから一票を入れて政権を交代させたのに変わりが無いではないか。
健ちゃん そうなんだよ。高齢者が増えたからといって、年金引き下げ、後期高齢者医療制度を改悪し、医療費を値上げする。カゼを引いた程度な

ら診療所に行かず薬局で薬を買って自分で治せというんだ。
Qちゃん 最低保障年金制度はどうなったの。
健ちゃん 年金で一番大切なのは、一定の年齢に達したら政府が税金で誰にでも給付する最低保障年金制度なんだね。ヨーロッパなどでは当たり前のことになってる。日本でもこれは必要と、各党派が

賛成し実現に近づいた。ところが民主党がガタガタして毎年首相が変わり、最低保障年金制度は棚上げ。消費税だけは財政再建だと、2倍の10%に大幅値上げするといふのだから許せない。増税は野党の自民党、公明党も賛成している。
Qちゃん 値上げしなければやっていけないの。
Qちゃん そうだね、私も元氣を出して頑張るよ。(松永)

健ちゃん ほんとの政界は国民の福祉、社会保障、大震災の復旧、復興に目をくれず党利党略に明け暮れている。これを変えさせる国民の大きな声の結集が必要だ。高齢者でいえば、全国で唯一組織された年金者組合の力を最大限大きく強い組織にする。6年後に20万組織を作る。神奈川でいえばこの秋5000人の仲間を迎えて1万5000人にするのが大切なんだ。
Qちゃん どうすればいいんだ。
健ちゃん ほとんどの税金は国民の福祉、社会保障、大震災の復旧、復興に目をくれず党利党略に明け暮れている。これを

算もたつぷり手当てし、政治資金も税金を山分けしている。無駄な支出を抑えれば増税なしで社会保障は実現できるんだよ。
Qちゃん どうすればいいんだ。
健ちゃん そんなことはない。野田政権はもうけを重ねる大企業には減税を約束し、軍事費も手をつけない。米軍への思いやり予算もたつぷり手当てし、政治資金も税金を山分けしている。無駄な支出を抑えれば増税なしで社会保障は実現できるんだよ。



社会保障を餌に消費税を大增税 高齢者・弱者いじめは許さない 全国の輪を強めた日本高齢者大会

第25回日本高齢者大会が9月12、13日の両日、青森市内で開かれ、全国から4571人、神奈川県から244人、うち年金者組合員は50人が参加しました。

今年には特に課題山積の要求を実現するために、すべての高齢者と輪をつなぎ、全国で地域から行動する決意を固める大会となりました。

3・11東日本大震災、福島原発の事故で野田政権が打ち出す復旧復興政策は、復興に名を借りた大企業の利益を優先するものであり、憲法25条を厳守する被災者の目線に立った政府の対



第25回日本高齢者大会 in 青森
東日本大震災が高齢者運動に問うかけるもの
「憲法を足場に生活と生活の再建を」
議長 東北大学名誉教授 日野秀逸氏

組合員の力作がぶらり 3000人が訪れ人気は上々 横浜みなみ支部の文化展

横浜みなみ支部第6回いきいき文化展は、9月24～28日まで5日間吉田町プラザで開催しました。



写真、書道、油絵、水彩画、水墨画、描き絵葉書、陶器、キルト、洋裁、パッチワーク、小物作り、篆刻など組合員の多彩な能力にビックリ。書道サークルは、「毎日書道展」で佳作入賞の荒井さ

とながら、手の込んだ細かい作業で可愛い作品に仕上げ、水墨画サークルは、初出展で高い水準が並びました。写真は新しい出品者を迎え、見る人の目を引いていました。出品をした人65人、5日間の来場者は3000人を越えました。そして、何よりも嬉しいのは、この文化展で、3人の方が入会してくれました。なかでもその一人のKさんは、写真を出展する傍ら、展示作業に黙々と協力してくれました。組合員の皆さんのご協力が無事開催できたことに心から感謝します。

石巻市で支援活動 竹トンボ千個を届ける 寒川支部のボランティア

竹細工サークルで「被災地の年寄りに元気がない。昔遊んだ竹細工を届けたら」との提案があり、びゅんびゅんごまと竹トンボを約千個作り届けることにしました。

煙の会からの野菜、呼びかけで集まった夏衣物料寄せられた義援金、その一部で購入した裁縫セットをワゴン車一杯に積んで6月20日4人で石巻に出発。仙台の県本部に届け、大変喜ばれました。4日間のボランティア

活動、汚泥の中からの位牌探し、水産会社倉庫の汚泥出し。支援物資の仕分け作業と仮設住宅へのお届け。雨合羽を着ての飼料工場から住宅地へ流出した腐敗汚泥の撤去など大変でした。被災した方々の話や案内してもらった壊滅的な町の様子には思わず涙がこぼれました。

被災地の復興にはまだまだ国の全面的な支援が求められています。(寒川支部・石黒良行)

大会に参加して ビックリ 4人に1人が 米兵の街

私は神奈川の参加者で最高齢だそう。鎌倉支部から一人元気に参加しました内田八重子です。分科会では千葉県三郷の方の話が心に残りまし

た。三郷は人口3万人。米兵は1万人で、街を歩いている人の4人に1人は米兵のこと。いろいろな事件も多く、安心して歩いていられないとのことでした。戦後66年たった現在、まだまだこんなことが続いているのだとびっくりしました。



名物のねぶたも登場

神奈川年金者文芸

(俳句) 川崎麻生支部 阿部 和子
月光を一時横切る米軍機
平塚支部 寺田 公明
風折れの栗の古木や峡深め
平塚支部 高橋 福松
秋暑し墓に水かけ語りかく
平塚支部 坪井 稔恭
月光やドジョウの腹に黒い砂
秦野支部 平野雄一郎
道祖神迷う心に秋の風
秦野支部 松本 サト
秋立つや二声三声明鳥

秦野支部 福岡まもる
球児の夢去りて晩夏の広さかな
(川柳) 横須賀支部 山田 良夫
角ばらず放射能ピラ渡しゆく
秦野支部 神宮 朋子
人はみな吾が身に降りて核を識る
旭支部 毛利やすひこ
原発事故さえなかつたらと会話終え
旭支部 本間鈍根花
東電よ古里去る身になって見ろ
横浜緑支部 吉田 一夫
ジャンケンでポイ出たよな総理どいつもこいつも

11月21日(金) ヨコスカ・ベイサイド・ポケット 輝け高齢期 かながわのつどい

日本高齢者大会の流れを受けついで、神奈川県でも「第7回輝け高齢期かながわのつどい」が開かれます。

テーマは孤独死のない安心して暮らし続けられるまちづくりを。ひとりぼっちの高齢者をなくそう。明るく楽しいつどいにしよう。記念講演や文化行事など、関係者が知恵をしばってお待ちしております。

墓前祭・11月18日 参加申込みを

「共同墓所」は8月末で第2次募集を締め切りましたが、9月以降も随時申込みを受け付けています。

既に7人の申込みがありましたが、そのうち3人は新規組合員です。現在「墓友」は347人です。秋の仲間づくり月間にも活用して具全体で1万5000人の目標を達成しましょう。



中国で加工中のモニュメント

11月11日 完成祝賀会と 墓前祭

11月11日(金)に、ご来賓と県本部役員とで完成祝賀会を開催します。

11月18日(金)には納骨式と墓前祭を行い、午後からは「よこすか平安閣」で懇親会を開きます。

介護保険法「改正」と地域包括ケアを考えるつどい

日時 2011年11月12日(土) 午後2時～

会場 かながわ労働プラザ(石川町)

講師：日下部雅喜さん(大阪社保協、福祉・介護オンブズマン)ほか、介護ヘルパー、ケアマネージャー、介護利用の家族 等から発言予定

※主催：横浜市社会保障推進協議会

問合せ 電話：045-241-0034

FAX：045-241-0049

横浜市内の介護事業者、施設従事者、ケアマネージャー、利用者家族から「地域包括ケア」の問題点を浮き立たせ、今、必要な介護事業について探るつどいです。

※みなさん、参加して介護の現状を学びましょう!

9月20日に開かれた第23回神奈川県本部大会で女性の会として、県本部発行の機関紙「年金しんぶん」に女性欄として1ページを担当することにいたしました。「年金しんぶん」の毎月発行は変わりませんが、

隔月で4ページ仕立てになります。女性の会はその4面を受け持ちます。今までは隔月で発行していましたが、全員に配布することができなくなりました。女性の会の活動を多くの人に知

つていただくことができるようになり大変うれしく思います。女性の会は毎月幹事会を開いて「さわやか女性のつどい」や仲間ふやし、支部交流やミニ学習をしております。女性の会ならではの



楽しく明るい女性の会に
|| さわやか女性だより再出発 ||

女性の会 会長 大貫多喜子

さわやか女性だより

No. 33

発行 神奈川県本部 女性の会

編集責任者 大貫多喜子

やさしさと力強さで



バスツアー参加の多摩支部のみなさん

8月30日、天気は上々。多摩支部女性の会主催のバスツアーは12回目。27人(男性2人)の参加

多摩女性の会バスツアー

です。

組合員の知り合いの勝沼のぶどう園では、巨峰、ピオーネ、ゴルビーなどがちょうど旬ワイワイガヤガヤと試食の後、希望の銘柄を箱詰めしてもらいました。ほったらかし温泉は山梨市矢野の山道をくねくね登った丘の上にある、露天風呂から日の出や夜景が眺められるのが「売り」です。

海抜700メートルの涼風は心地よい。甲斐の山々越しに富士山を見ながらの入浴は開放感でいっぱい。頭に菅笠をかぶった裸の背中が露天風呂にずらりと並んだのは壮観。「夜までいて夜景も見たいネ」の声もありました。(多摩支部・小林光子)

ぶどう狩りとほったらかし温泉

多摩女性の会バスツアー

支部だより

サークルとしては多くのところで「小物づくり」サークルがあり、袋物からつるしびなまで作っています。また、古布サークルは、平塚支部がいちばん活発です。タンスに眠っている着物などリサイクルして

生まれかわり、すばらしい洋服に変身します。「さわやか女性のつどい」のファッションショーは圧巻でした。今後は支部の活動報告や楽しい行事など載せていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

皆さんこんにちは。大山の麓、伊勢原支部の女性の会です。7月29日、第三回総会をすませたばかりで、活動が組合員の中に定着しつつある手ごたえ

多彩なイベントで無理せず楽しく!

伊勢原女性の会総会

を感じています。5月の伊田川散策は25人の参加で、新緑の中、おしゃべりに食事に歌声にと盛り沢山の内容を満喫しました。7月の総会は27人の参加で、建設的な意見が出されました。記念講演は佐田美郷さんで、介護保険を利用する側からの経験が明るく話され、多くの示唆をいただきました。9月21日は台風接近にもかかわらず、17人の参加でお手玉づくりを楽しみました。どのイベントにも総会にも、必ず男性が参加してください。 「無理せず・楽しく・できることを皆で」の合い言葉で活動を進めていくつもりです。(伊勢原支部・馬場幸子)



(伊勢原支部・馬場幸子)

得意のロックソーランも年金者一揆



舞台の上では、実行委員会の要望に応じてロックソーランを威勢よく踊ります。神奈川県テントの周りでは、みんなで輪踊りを踊りました。お昼は、おにぎり200個、パン50個を販売する予定です。